

重信川付近の社会福祉施設で地元ボランティアも協力して水害に備えるための避難訓練を行いました。

平成29年9月に県内を襲った台風第18号の教訓を生かそうと、10月25日(月)に松山市余戸南にある社会福祉施設で、台風による重信川の水位が上昇し、避難勧告が発令されたという仮定のもと避難訓練を実施し、施設職員や地元ボランティアらを含む約80人が手順や連携などを確認しました。

施設が平屋のため、約500m先にある4階と5階建ての2棟を所有する高齢者総合福祉施設に避難しました。

また、ルート確認のため、二手に分かれて入所者らの車いすを押すなど、実際の災害時での行動を想定した訓練を行いました。



避難所への避難開始



避難の様子



避難の様子



避難所での人数確認、点呼の様子